

2026年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験科目名	専門試験（行動科学）
出題の意図	<p>問1 名誉の文化研究に関する基礎知識を前提に、その理論枠組みを用いて文化の成立・持続・変容プロセスを因果的に説明できる応用力を評価する。</p> <p>問2 標本抽出による社会調査に際し、無作為抽出をすることの理論的意義、及び、実際的な対応についての理解度を確認する。</p> <p>問3 行動科学研究に関連する基礎的な知識を評価する。</p>

2026 年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 行動科学 全 3 枚のうち 1 枚目

この試験では、試験問題 3 枚、解答用紙 4 枚を配付する。

以下の問 1 から問 3 までの全ての問に答えなさい。解答は、問ごとに別の解答用紙を用い、冒頭に問番号を記入しなさい。問 1 と問 2 は各 1 枚ずつ、問 3 は最大 2 枚の解答用紙を用いなさい。

問 1 名誉の文化（culture of honor: Nisbett & Cohen, 1996）について、以下の①から③の問いに答えなさい。

- ① アメリカ南部諸州に存在する名誉の文化とはどのようなものであるかを説明した上で、それがどのような生業への適応として発生したと論じられているかを説明せよ。
- ② 現代のアメリカ南部諸州では名誉の文化を育んだ生業は縮小し、この生業に従事する労働者の割合は、もはやアメリカの他の地域とほとんど変わらない。であるにも関わらず、名誉の文化はアメリカ南部諸州に存在し続けている。その理由を説明せよ。
- ③ 仮に将来、アメリカ南部諸州において名誉の文化が消失するとしたら、どのようなプロセスが考えられるだろうか。1 および 2 に対するあなたの解答と関連付けて論ぜよ。

出典：Nisbett, R. E., & Cohen, D. (1996). *Culture of honor: The psychology of violence in the South*. Boulder, CO: Westview Press.

問 2 ある大規模な都市における意見分布（例えば、ある社会政策への賛否）を知るために、標本抽出による社会調査を実施するとする。有限な既知の母集団のサイズがわかっている場合、必要な標本サイズは次の式で与えられる。

$$n = \frac{Nz_{\alpha/2}^2 p(1-p)}{(N-1)\varepsilon^2 + z_{\alpha/2}^2 p(1-p)}$$

ただし、各記号の定義は次の通り。

- n : 必要な標本サイズ
- N : 母集団サイズ（既知）
- p : 母比率（事前に不明な場合は $p = 0.5$ と置く）
- ε : 推定誤差の幅（信頼区間の半幅）
- α : 危険率（真の母比率が信頼区間に含まれない確率）
- $z_{\alpha/2}$: 標準正規分布の上側 $\alpha/2$ 点

$$p(|z| \leq z_{\alpha/2}) = 1 - \alpha$$

例えば、推定誤差の幅 ε を 5%、母集団比率の推定を誤る確率 α を 5% としたとき ($z_{\alpha/2} = 1.96$ とする)、人口 100 万人の都市のある意見や態度を有する人の割合を知りたいときには、この式にあてはめて計算すると、 $n \doteq 383.98$ という結果が得られる。同様に、仮に日本の人口を 1 億人とすると、 $n \doteq 384.16$ という結果が得られる。

つまり、日本全体のある意見分布（賛否の割合）を知りたいのならば、必要な標本サイズは 400 もあれば十分であるということになる。

ただし、この計算の前提条件には、完全無作為抽出がなされており、かつ、100% の回答率が満たされていることがある。現実にはこの前提を満たすことは限りなく不可能に近い。

そこで、次の 2 つの方法で回答を集めたとする。

イ. 住民基本台帳から層化二段抽出を用いて回答者を抽出し、できる限り回収率を高める工夫をした結果、1,000 件の回答を得た。

ロ. SNS を通じてできる限り大量の回答を集めた結果、5 万件の回答を得た。

あなたは、この 2 つの方法のいずれがより望ましいと考えるか。それぞれの長所と短所を比較しながら答えなさい。

問3 下記の①から⑤までの全てに簡潔に答えなさい。

- ① 授かり効果 (endowment effect) とは何か。著名な研究例を挙げつつ説明しなさい。
- ② 文化的自己観 (cultural self-construal) とは何か。その定義を述べた上で、特に北米社会と東アジア社会のそれぞれで代表的とされる二種類の文化的自己観について説明しなさい。
- ③ 互惠的利他主義 (reciprocal altruism) とは何か。その定義を述べた上で、利他行動の研究におけるこの概念の位置づけについて説明しなさい。
- ④ 社会現象の説明におけるエミック (emic) な説明とエティック (etic) な説明とは何か。両者の相違点ができるように説明しなさい。
- ⑤ 標準誤差 (standard error) とは何か。また、信頼区間 (confidence interval) とは何か。それぞれの定義を述べた上で、データ分析の際、これらがどのように用いられるのかを説明しなさい。

以上